

Course number		U-LAS25 20003 SJ48								
Course title (and course title in English)		イタリア語II B I2151 Italian IIB			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,SHIMODA YOSUKE			
Group		Languages		Field(Classification)						
Language of instruction		Japanese		Old group		Group C		Number of credits		2
Number of weekly time blocks		1	Class style		Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters		2026・Second semester	
Days and periods		Thu.3		Target year		2nd year students or above		Eligible students		For all majors
[Overview and purpose of the course]										
この授業では、イタリア語の基礎文法を学び終えたあと、リーディング用の教科書を用いてイタリア文化にまつわる文章の講読を行う。 文法の理解を基礎に、イタリア語の文章を自ら読み進められる読解力を身につけるとともに、テキストで説明されるイタリア文化について理解を深めるのが目的である。										
[Course objectives]										
イタリア語の初級文法を習得し終える。イタリア語のまとまった量の文章を自ら読み進められるようになる。 イタリア語とイタリア文化について理解を深める。										
[Course schedule and contents]]										
学期前半はイタリア語Iで使用した教科書、講読用教科書の解説、および補助プリントを用いて文法事項を学び、基礎文法を完成させる。 後半は講読用教科書の文化編の文章を練習問題を解きつつ読んでゆく。2回で1課ほどのペースで進む予定である。受講者にあわせて、より高度なレベルの文章（プリント配布）を読む場合もある。 第1回 前期までの文法事項の復習(1) 第2回 復習(2)／接続法(1) 第3回 接続法(2) 第4回 接続法と仮定文 第5回 ciとneほか 第6回 確認テスト、ここまでのまとめ 第7-14回 教科書テキストの読解 《期末試験》 第15回 フィードバック 以上の予定で進めて行くが、授業参加者の理解度に応じて進度が多少変わる場合もある。										
[Course requirements]										
Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".										
[Evaluation methods and policy]										
平常点50%（参加姿勢、小テスト、テキストの解釈等による。詳しくは初回授業で説明する）、試験50%（中間確認テストと期末試験の割合は授業内で説明する）として総合的に評価する。 Continue to イタリア語II B I2151(2)↓↓↓										

イタリア語ⅡB I2151(2)

[Textbooks]

一ノ瀬俊和 監修、ナンニーニ・アルダ、古田耕史 著 『文で味わうイタリアーたのしいイタリア語 読み書き入門ー』（朝日出版社）ISBN:978-4-255-55309-2（前期と同じ教科書。）
イタリア語Iの教科書も引き続き使用する。補助プリントも配布する。
講読用追加テキストを配布する場合がある。

[Study outside of class (preparation and review)]

学期前半の文法説明では、授業内で指示された例文を読み、練習問題を解いてくること。小テストに備えて活用等の文法事項を覚えること。後半の講読では次回進む範囲の予習をしてくること。
単語・文章の意味を把握するだけでなく、声に出して文章を読む練習を必ずしてほしい。

[Other information (office hours, etc.)]

オフィスアワーは金曜2限です（事前に連絡してもらえると確実です）。気軽に相談に来てください。
ただ、授業内容に関する質問はなるべく授業中に受けたいと思います。遠慮なく積極的に質問してください。

[Essential courses]